

京都市立堀川高等学校

中学1・2年生対象 学校説明会 2015

平成 27(2015) 年 11 月 14 日(土) 14 時 00 分 ~ 16 時 30 分
京都市立堀川高等学校 本校アリーナ(本館4階)

堀川高校へようこそ。
本日は下記のとおり進行いたします。

全体会

オープニング
学校長 あいさつ
教育方針・学校生活 紹介
探究活動 紹介(本校1年生)
パネルディスカッション(本校1年生)
選抜概要・学習アドバイス

全体会終了後

学校探究 (施設見学) ご自由に校舎内を巡り、堀川高校を探究してください。各施設で生徒スタッフがパネルを用いて堀川高校の施設や、学校生活の様子を紹介します。

個別相談 北館2階(授業研究室前)へ直接お越しください。受付順にご案内いたします。教職員ブースとともに生徒ブースもご用意しております。

本日の配付資料

1. 説明会資料(※この冊子です)
2. 学校案内パンフレット2016
3. SSHニュース「探究魂 Vol.1」
4. 選抜概要スライド資料
5. 施設案内図
6. アンケート用紙

- お手数ですが、同封のアンケート用紙にご記入の上、お帰りの際に1階受付にて生徒スタッフにお渡しください。

文部科学省 スーパーサイエンスハイスクール(SSH)研究指定校
文部科学省 スーパーグローバルハイスクール(SGH)研究指定校
立志 勉勵 自主 友愛

 京都市立堀川高等学校

Kyoto Municipal Horikawa High School ~ established in 1908

ようこそ THE NEST OF YOUTH へ



堀川高校では、校訓「立志・勉勵・自主・友愛」に基づいて「自立する18歳」の育成を図るための豊かな学校を構築することを最高目標としています。みなさんの大切な高校の3年間で真に充実した時になるよう、心をこめて支援します。日々の学習活動、ホームルーム活動、部活動、各種委員会活動など、生徒相互の交流や教職員との交流を通して自己を磨き、未来について考え、自己実現を図るための堀川高校での3年間。そのなかで将来の目標と展望を明確に示す力を備え、未来を切り拓くたくましい創造力と豊かな人間性を身につけた若者に成長し、人類の幸福と社会の進歩に貢献してほしいと考えています。

1. 平成28年度選抜概要

学科	普通科(人文探究コース・理数探究コース)	探究学科群(人間探究科・自然探究科)
募集定員	80名	160名
通学区域	京都市・乙訓地域	京都府内全域
前期選抜	24名(募集定員の30%) A方式(報告書・活動実績報告書・共通学力検査・小論文・面接)	160名(募集定員の100%) A方式(報告書・独自学力検査・小論文)
中期選抜	56名(募集定員の70%) 報告書・共通学力検査	

意欲を持って主体的に学ぼうとする生徒、自らの興味や関心を生かして幅広く学び、問題意識を掘り下げて解決していくこうとする姿勢のある生徒を求めています。

入学者選抜の詳細は、中学校に詳しくお伝えします。中学校の先生と十分にご相談ください。

(1) 普通科 選抜概要

■前期選抜(募集定員 24名)

探究活動を進めるための「基礎的・基本的な知識」とその「活用能力」を測ります。

「基礎的・基本的な知識」とは国語・数学・英語の学力、
「活用能力」とは知識・技能等を活用して課題を解決するために必要な力を指します。

◇検査内容

学力検査 共通学力検査「国語」「数学」「英語」
小論文 1題
面接 グループ面接

◇配点

報告書(135) 各教科5点×9教科×3学年分、活動実績報告書(35)
共通学力検査(150)、小論文(35)、面接(20)
※活動実績報告書

中学校における、自分の興味や関心を生かして、校内・校外(大学や高校などで実施される発展講座など)の取組に参加し、主体的に学ぼうとした意欲や学んだ活動を記載すること。

■中期選抜(募集定員 56名)

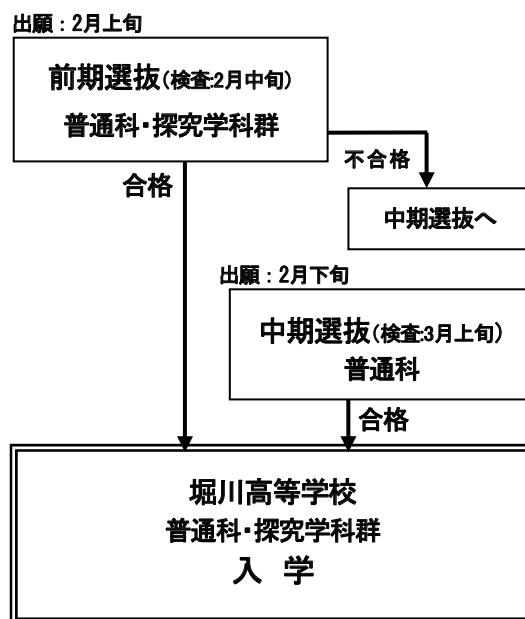
◇検査内容

学力検査 共通学力検査「国語」「社会」「数学」「理科」「英語」

◇配点

報告書(195)、共通学力検査(200)

※中期選抜は、京都市・乙訓地域の共通方式で実施します。概要は教育委員会発行の、平成28年度京都府公立学校入学者選抜概要をご覧ください。



(2) 探究学科群 選抜概要

■前期選抜（募集定員160名）

探究活動を進めるための「幅広い言語能力」とその「活用能力」を測ります。

「幅広い言語能力」とは日本語および英語の理解力と表現力, 数学的な思考力, 「活用能力」とは多面的・多角的に考える・判断する力, 科学的に見る・考える力を指します。また, 自分の考えをまとめて論理的に表現する力を確認します。

◇検査内容

学力検査 独自学力検査「英語」「国語」「数学」「人文・社会科学」「自然科学」
※「英語」の検査にはリスニング問題を含みます。

小論文 1題
※探究学科群の小論文は, 普通科の小論文と同じ内容です。

◇配点

報告書(100), 独自学力検査(400), 小論文(25)

報告書: 各教科5点×9教科×3学年分=135点を100点に換算

独自学力検査: 「英語」「国語」「数学」各100点, 「人文・社会科学」「自然科学」各50点

2. 独自問題による検査の内容

(1) 小論文 <普通科>・小論文 <探究学科群> 検査時間:40分

提示された課題文から情報を読みとり, 論の展開・構成や主張を適切に把握するとともに, 論理的に表現する力を確認します。

(2) 面接 <普通科> 検査時間:約30分

グループ(6~8人)討論形式で行います。提示された課題について各自が案を出し合い, 協力し合って考えを一つにまとめることで, コミュニケーション能力や表現力, 協同する力を確認します。

(3) 独自学力検査 <探究学科群>

検査1~5共通: 中学校の学習範囲で解答できることを基本に, 学習事項および発達段階から考えて応用的に解答できると想定されることも出題します。検査の順序, 検査時間および内容は以下の通りです。

検査1<英語> 検査時間:50分

英文の正確な意味や全体の流れを理解する力と受けとった情報をもとに適切に表現する力を確認します。

検査2<国語> 検査時間:50分

言葉を通じて正確に読み取る読解力と筋道の通った言葉で表現する記述力を確認します。

検査3<数学> 検査時間:50分

筋道を立てて考える力とその一連の過程を確実に処理する力を確認します。

検査4<人文・社会科学> 検査時間:40分

日本や世界の出来事を題材に, 資料を通して多角的に考える力を確認します。

検査5<自然科学> 検査時間:40分

知識や経験を生かした柔軟な発想をもとに, 科学的に考える力を確認します。

3. 今後の学習について

最初にやるべきは, 弱点となる科目がないように, 中学校での学習内容全般をしっかりと確認することです。教科書の内容を理解した上で, さらに発展的な内容についても時間をかけて学習し, 学力検査に臨んでください。

毎日学習することを習慣とし, 大切にしてください。受検のために勉強するというのではなく, 学習方法を含めて「自分の勉強法をつくりあげる」という気持ちで取り組んでください。自分なりに工夫し, 試行錯誤を重ねて身につけた「習慣」や「勉強法」は, 今後必ずあなたを支えます。

堀川高校生から中学生のみんなへ

このメッセージは1年生が9月に
中学校に宛てて書いたものです。

1 堀川高校に入学してからの新たな発見や印象

- ☆毎日が驚きと発見で満ちています。モノの見方が変わったというか、様々なことに「疑問」を抱く力が身についたと思います。
- ☆周囲には高い目標や夢をもった人が多くて驚きました。また自分と同じようなことを目標にしている人もいて、自分の知らなかった事を教えてもらうことが多く、周囲に刺激されることが多いです。
- ☆何より自由を感じます。先生から指示や注意を受けることは少なく、「小さな大人」として扱ってもらっていることを実感しています。また、誰もが前に立てる機会があって、互いにどこか尊敬しあっている空気が個人的にとっても好きです。
- ☆入学して改めて堀川の活動の多さに驚きました。特に探究活動です。与えられたテーマを元に論文を作成することは想像以上に大変ですが、今後に役立つことを学べます。講演会やSSH研究発表会の見学もあり、幅広い経験ができます。
- ☆堀川は、いい意味でも悪い意味でも寛容です。厳しい校則はありません。ただ、全て自己責任です。しかし、ほったらかしというわけではありません。困っていれば助けてくれる先生方、友達といった環境があります。自分の力を最大限に引き出せる環境があります。そんな環境で過ごす自立した人間になれます。
- ☆堀川＝マジメの集団というイメージがありましたが、個性の強い人が多く、とても楽しい学校です。勉強はもちろんですが、探究道場スタッフや祇園祭のボランティアなど、様々な活動に参加することで、自分が知らなかった世界を知り、新しい分野に興味を持つことができます。
- ☆堀川高校は生徒が自ら動くということを第一に考えていて、先生方に言われたことだけをこなすというような形式をとっていないため、行動力や思考力を高めることが出来ます。

2 学校生活や学校行事（花背山の家宿泊研修・文化祭など）についての感想

- ☆入学してすぐに花背山の家での宿泊研修があります。新しい友達ができしたのはこの時です。初めての探究を短い時間で行うのは大変でしたが、探究の楽しさに気がきました。
- ☆学校行事は主に生徒が主体となり運営し、先生たちはそれをただ見守っています。なので、自分たちにとって納得のいく最高の学校行事にできます。とくに高1の3月に行く海外研修ではそれ

が顕著にあらわれ、ヨーロッパ、アメリカ、オーストラリア、マレーシアコースから1つ選び、自分たちで当日の研修内容を決めています。

- ☆入学直後に行われた花背山の家宿泊研修で中心となる「スタッフ」には、生徒の約7割の人が希望していてとても驚きました。文化祭もクラス一丸となって本気で楽しめます。自分たちで自由にパフォーマンスを創れるので達成感があります。
- ☆学校行事はとにかく“熱い”です。どれも生徒によって運営されます。特に文化祭ではクラスの団結力をみることができました。受験の天王山である夏休みに、高3の先輩方が廊下などでダンス練習をしている姿はかつこよかったです。
- ☆「二兎を追う」がモットーで、行事はとても盛り上がります。先輩方もやさしいので、委員会活動が忙しいながらも楽しいです。行事を1つ経るごとに、クラスや学年が団結するのが感じられます。学校生活は、勉強したいときは静かに勉強でき、遊びたいときには思い切り遊べる環境なので、充実していると思います。

3 堀川高校での学習について

- ☆とてもレベルが高いです。課題の量も本当に多いです。ただ、堀川の勉強に追いつこうとしていけば自然と学力は伸びます。先生にも質問しやすい雰囲気があります。
- ☆探究科と普通科のカリキュラムが同じなので高いレベルで学習していることを実感します。ただ、求めたら応えてくれる先生ばかりなので頑張れます。
- ☆堀川高校では定期的に小テストが行われるので、学習サイクルがつかれると思います。英語は1週間に7時間あり、私たち生徒が英語を話したり触れたりする機会が多いです。
- ☆進学校ということもあり、やはりその授業スピードは速い。ただその授業内容は、今まで自分が考えたこともないような新たな世界を見せてくれるもので、楽しすぎます。また、「朋」がいるからこそ、よりおもしろくなる。他の学校では決して教えてくれることのないような学問の極みに触れられます。
- ☆授業中にグループワークをすることがよくあります。友達の意見を聞いたり、自分の意見を発信したりする良い場がこの学校にはあります。
- ☆グループワークではみんなで知恵を出し合って、自分だけではわからないような答えを出せたり、テストでは一人ひとり競い合って、お互いに高め合いながら学習していくことができます。
- ☆授業の進む速度が速いので、部活後に家で予習や復習をすることは大変ですが、自分自身で計画を立てて勉強することはとても楽しいです。